

東京労働局における就職支援 の取り組み

東京労働局における 就職支援の取り組み

東京労働局職業安定部
職業対策課長 藤村静男

障害者雇用の現状

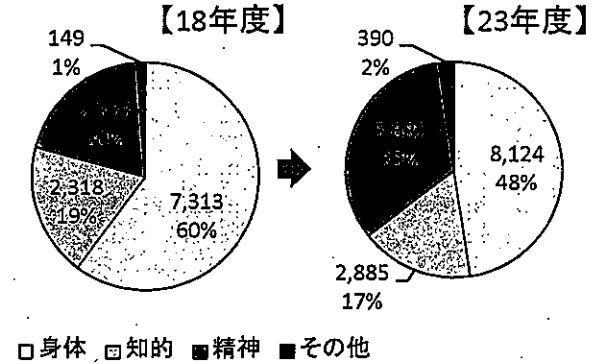
東京労働局

東京ハローワークにおける新規求職/就職数

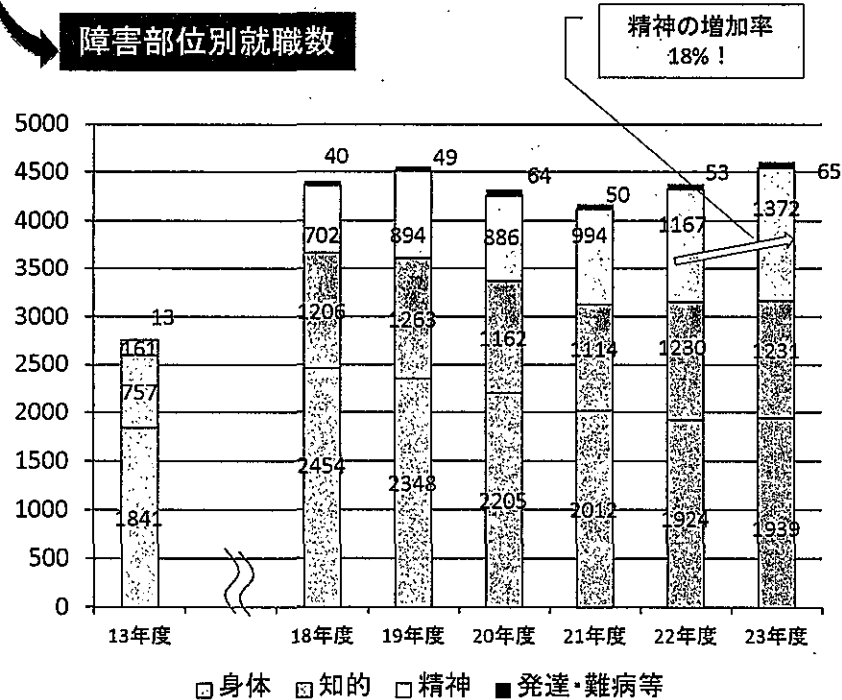
	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	対前年比
新規求職	12,153	12,614	13,612	15,049	16,029	17,081	6.6%
うち 身体	7,313	7,282	7,540	7,813	7,857	8,124	3.4%
うち 知的	2,318	2,291	2,426	2,712	2,829	2,885	2.0%
うち 精神	2,373	2,829	3,455	4,294	5,052	5,682	12.5%
就職数							5.3%

新規求職者数の比較 (18年と23年)

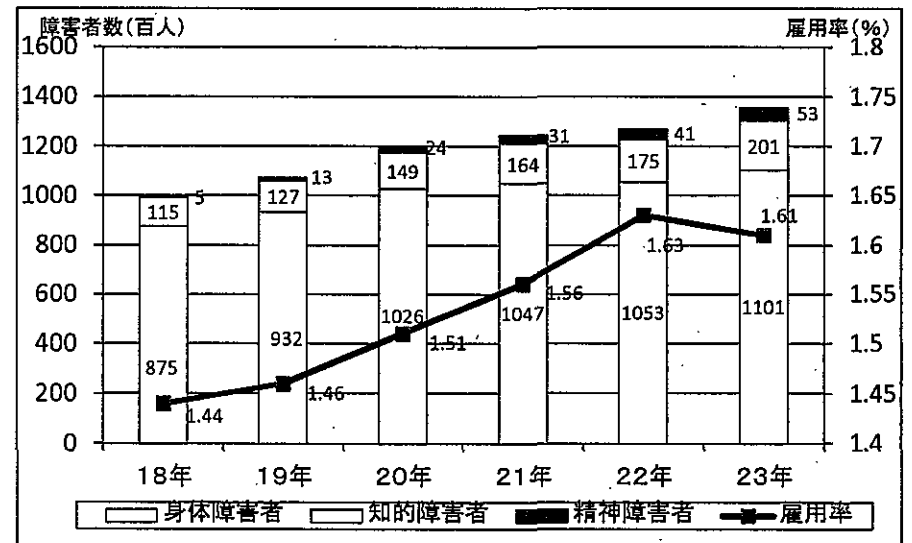
- ・精神は20%から33%へ増加
- ・身体は60%から48%へ減少



障害部位別就職数



雇用者・実雇用率状況(6-1報告より)



ハローワークを中心とした「チーム支援」

福祉施設等の利用者をはじめ、就職を希望する障害者一人ひとりに対して、ハローワーク職員(主担当)と福祉施設等の職員、市町村の職員等がチームを結成し、就職から職場定着まで一貫した支援を実施

就職を希望している
福祉施設利用者等



就職に向けた取組

就職!

企業



職場定着
職業生活
の安定

ハローワーク

就労支援コーディネーターを配置し、
関係機関と調整

副主査

福祉施設等

- 授産・更正施設、小規模作業所
- 医療・保健・福祉機関
- 特別支援学校
- 精神障害者社会適応訓練事業の協力事業所 等

区市町村・専門機関

- 障害者団体、障害者支援団体
- 東京障害者職業センター
- 障害者就業・生活支援センター（都内6か所）
- 東京障害者職業能力開発校
- 国立職業リハビリテーションセンター
- 障害者地域生活支援センター
- 福祉事務所 等

障害者就労支援チーム

就労支援計画の作成

チーム構成員が連携
して支援を実施

フォローアップ

就労支援
生活支援

職場定着支援
就業生活支援

ケース事例



気分障害・広汎性発達障害
男性30代 手帳あり

支援チーム

ハローワーク
保健所
多摩総合精神保健福祉センター
東京障害者職業センター
東京しごと財団
地域生活・就労支援センター

ステップ1

《支援計画》
就労意思の確認
訓練選定
生活習慣の改善
コミュニケーション力の向上

東京しごと財団
委託訓練（IT基礎）
ワープロ検定1級合格

自信
出席率9.9割

《支援会議》
委託訓練の振り返り
ジョブコーチ
障害オープン
生活習慣
コミュニケーション力向上
就労条件の確認

ステップ2

障害者職業センター
職業準備訓練
課題の整理

面接対策
応募書類添削
求人検索・応募
同行面接（障害者職業センター）

数件応募するも不調

ステップ3

就労支援センター
通所
同行相談・面接

障害者就職面接会参加
東京都チャレンジ雇用応募

東京都チャレンジ雇用
採用
6か月 無遅刻・無欠勤

数件応募するも不調

職場見学・応募
企業・本人の
意思確認

トライアル雇用
採用！

就労支援機関
職場定着